

ラーメン発電

仙台第三高等学校

A4班

1. 序論

- 一般的な発電方法には問題点
- 食品ロス問題
- 持続可能な社会

食べ残しで発電することを学び
問題解決の糸口とする

まとめ・結論

現実的ではないという結果に至った

再生可能エネルギーの主力電源化を
目指すべき

2. 材料と方法

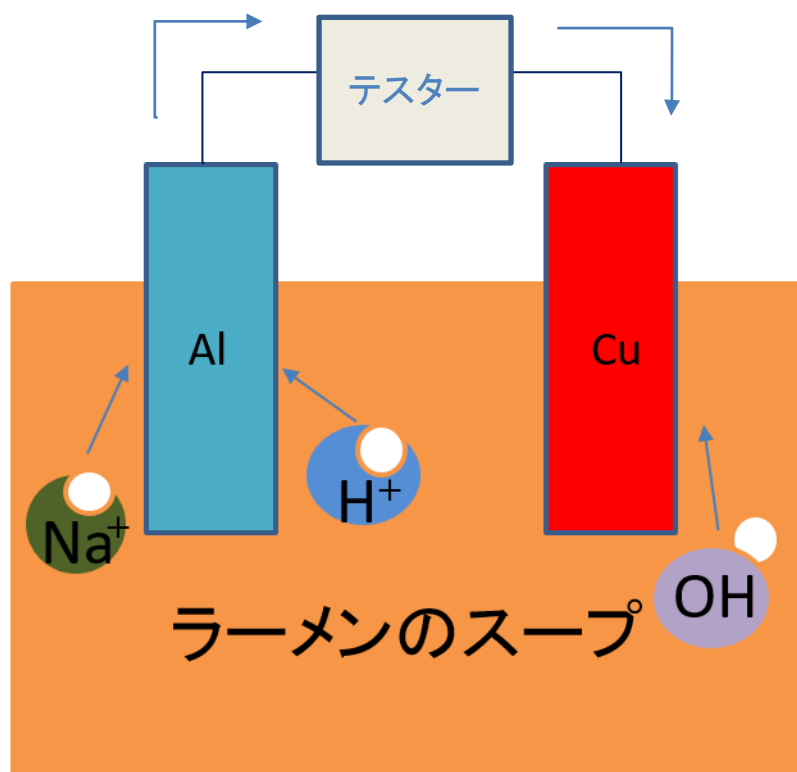
○実験材料…

カップヌードル醤油味・チリトマト味
(スープのみ) 10円玉、アルミホイル

○実験方法…

ラーメンのスープのみを取り出し、
銅板(10円玉)とアルミ板(アルミホイル)
をスープにつけてかかっている
電圧をテスターで計測した。

※図



3. 結果・考察

	電圧 (V)	電流 (A)	塩分 相当量(g)
醤油味	0.525	0.5	4.9
チリマト 味	0.5	0.2	4.0

・アルカリ乾電池の約1/3の電圧

要因

- ・スープの中の電解質の量が十分でなかった。
- ・スープの油が金属表面での反応を妨げた。
- ・金属板が小さすぎ、反応が十分に行われなかった。
- ・純粋な銅を用意できなかった。